

平成23年度第7回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：平成24年3月17日（土）

午前9時30分～午後5時

場 所：市役所新館2階大会議室

出席者：審査委員 檜楨委員長、島委員、成田委員、齋藤（秀）委員、清藤委員、前田委員、
吉本委員、長内委員、工藤委員、小林委員、田中委員、小山委員（事業番号19の審査から出席）

※3名欠席

市民生活課 佐々木課長、北岡参事、堀川総括主査、葛西主事、阿保主事

1 公開ヒアリング・審査会

＜ヒアリング・審査方法＞

- ・1事業ごとに公開ヒアリング・審査を実施。
- ・今回より審査は採点方式によって決定。
- ・審査委員が申請団体に所属する場合は、ヒアリングから審査まですべて外れる。
 1. ヒアリング …15分程度（7分以内で事業内容の説明。残り時間で質疑応答。）
 2. 審査 …20分程度（事業内容・金額について審議後、採点表に記入。）
 3. 採点結果発表…採点表集計後、休憩ごとにまとめて発表。

【審査項目】

審 査 項 目	
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている

【審査採点】

区 分	評 価
審査項目に合致している	10点
やや、審査項目に合致していない部分がある	5点
審査項目に合致していない	0点

【決定方法】

採択…出席委員の合計の平均点が60点以上、
かつ、各審査項目の平均点が3点以上

《審査内容》

- 1：一般市民への成年後見制度の普及・啓発・相談・援助事業
／シンフォニー「成年後見制度を考える会」

【主な意見】

- ・行政や、成年後見制度について取り組む他の団体と、ネットワークを構築して活動を広げてほしい。
- ・これから先、成年後見制度がますます重要になってくるため、この事業の実施により、広く市民に成年後見制度の理解を深めてほしいという期待感がある。
- ・この団体は、これまで少ない予算の中、ボランティアで活動していたので、助成があれば、もっと積極的に広報ができて、活動を広められるのではないかと思う。

【採択結果】

合計点 91.0 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点（小林委員は、申請団体に所属するため審査から外れる）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.5
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	9.0
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	10.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.5
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.5
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.0
合計		91.0

- 4：「おかえり野菜」プロジェクト事業／NPO 法人 もったいない つがるの会

【主な意見】

- ・市の取り組みと大きく違うのは、構成員が、ダンボールコンポストでのたい肥の作り方について説明をしたり、助言するところにある。たい肥化で失敗している例も多く、助言をいただけるのであれば、普及していくのではないか。
- ・幼稚園などの施設がどれくらい受け入れてくれるかが心配。現実的にはどこの施設も手が回らないのではないか。
- ・エコに対する意識は弘前市は高いほうだと思うので、協力してくれるところはあるので

はないか。

- ・行政や他の環境関係の団体との連携がないので、今後どのように繋がっていくかが重要だと思う。

【採択結果】

合計点 64.5 点 ≥ 60.0 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.1
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.8
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	5.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	4.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	6.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.7
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	4.5
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	5.0
合計		64.5

● 6：民俗無形文化財お山参詣／鳥井野お山参詣実行委員会

【主な意見】

- ・観光イベントとは異なる、昔ながらのお山参詣を準備段階から知っている人がいる今、65年ぶりに復活させて伝えることは非常に良いことである。この機会を逃さないほうが良い。
- ・事業の準備から終了までの計画がしっかりしている。記録を残して、後世に伝えて欲しい。
- ・お山参詣について知らない人も多いと思うので、ぜひこの事業を行って欲しい。
- ・復活させたお山参詣を通して、若者だけでなく、障がい者も交え、まとまりのある地域にしていこうという目的が明白に示されていて良い。
- ・地域に対する愛着を持つきっかけとなる事業である。

【採択結果】

合計点 94.1 点 ≥ 60.0 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.1
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	9.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	10.0
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	9.1
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	10.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.1
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.5
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.6
合計		94.1

● 11：みんなで学ぼうバルーン&ジャグリング/CLAP（クラブ）

【主な意見】

- ・東京などでは福祉大学の学生の中で大道芸が盛んに行われ、知的障がい者などの福祉的な療養にも使われている例もある。
- ・大道芸を教える人が大学生であり、若い人がこの事業に参加して社会貢献的な経験ができるのがとても良い。
- ・土手町の活性化という点でも、こういった事業が一つでも増えたほうが良い。
- ・大学生や若い人たちが横の連携をとっていけるよう、繋ぎ役として活躍してほしい。

【採択結果】

合計点 86.8 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.1
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	9.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	6.8
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.4
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.6
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	10.0
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.2
合計		86.8

● 19：三省 SUN 太陽(サン)フェスティバル2012／三省地区地域活性化協議会

【主な意見】

- ・三省地区のように複数の町会で連携している事例が、ほかの地域にも広まっていけば良いと思う。
- ・地域に住んでいる人がネプタの準備段階から関わることで、地域に対する愛着や絆を深められる意義のある事業。
- ・昨年この事業を見学した際、地域の活性化や子どもの育成、高齢者の交流につながる事業であると感じた。団体を構成する5町会がみんな連携して地域を元気付けようという気持ちで行っているということがまちづくりに役立っていると思う。町会だけでなく、地域ぐるみで活動しているのが非常に感動した。

【採択結果】

合計点 90.4 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.2
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	10.0
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	9.2
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	10.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.3
合計		90.4

● 9：選手たちによる市内環境美化・ボランティア活動

／HIROSAKI 市民球団プロジェクト「弘前アレズ」

【主な意見】

- ・弘前の中で、市民球団をつくり活動していくこと自体が、大事なまちづくり活動である。
- ・団体が目標としている、野球を通じた地域活性化を図る活動について応援したい。
- ・事業の経費で大きなウェイトを占めるジャンパー・ウェアについては、協賛金を募った方が良くはないか。次年度以降に新たに入部する部員は、ジャンパー等を自己負担で買わなければならないという不平等性もある。
- ・団体の定款にある「青少年育成及び人間育成」という団体の活動目的を達成するための事業を計画し、その活動に必要な講師料や会場費（球場費）等の予算であれば良いのではないか。

【採択結果】

合計点 57.3 点 < 60.0 点

審査項目⑩費用対効果のバランス 2.7点 < 3.0点 ⇒不採択

※審査委員 11名で審査採点（清藤委員は、申請団体に所属するため審査から外れる）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.0
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	5.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	6.8
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	5.9
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	4.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	5.9
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.1
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	3.6
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	2.7
合計		57.3

● 16：青森スマートドライバー／青森スマートドライバー実行委員会

【主な意見】

- ・交通事故を無くする方法として、ステッカーを配るだけでは物足りないし、一過性のイベントのような印象を受ける。
- ・ドライバー自身が自らを律しない限りは、交通事故は無くならないと思うので、啓蒙活動は必要だと思う。
- ・交通安全協会や自動車学校などとの連携ができれば、かなりの効果が期待できるのではないかと。

【採択結果】

合計点 72.9点 ≥60.0点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.9
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	7.1
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.7
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	7.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	5.8
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	4.6
合計		72.9

● 22：地域の絆「ふるさとの写真と歴史」次の世代へ／常盤野町会

【主な意見】

- ・子ども達に地域の歴史を記録に残し、伝えるということは大切なこと。
- ・DVD作成の謝礼に40万円ということに対して意見が分かれるところだが、DVD作成を委託するのであれば、もっと費用がかかると思う。40万円で記録に残すことができるのであれば作って欲しいと思う。
- ・ただ映像だけを残すというのではなく、防災と地域の絆を含めた内容のものを作成し、残してもらえれば、地域づくりになるのではないかと思う。
- ・今後も、残した映像をただ見るのではなく、DVDを活用してワークショップを開くなど、地域の人たちが地域の歴史を共に学べる場を設けることが出来れば良いと思う。

【採択結果】

合計点 86.7点 ≥60.0点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.9
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	7.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.6
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.3
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	8.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	7.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.2
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.2
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.3
合計		86.7

● 17：「弘前市市民参加型まちづくり1%システム事業」申請支援事業／ユースサミット弘前

【主な意見】

- ・この制度では、「自らが」ということが非常に大事。申請にあたり、自分たちの地域のために、様々なことを自分たちで調べ、困難に向かって行く過程が大事なもので、踏み込み過ぎるのは非常に危険であると感じる。
- ・行政を補完する意味で、この事業が立ち上がってくるのは、官と民の協働という意味でも良いのではないか。
- ・1%システムについての目的や考えを市と申請者できちんと共有されていない印象がある。考え方にズレがあるとこの支援事業は成り立たない。
- ・もう1年、行政と審査委員会で、本制度の問題点等を整理してから、この事業を実施させても遅くはないのではないか。
- ・実績があっても不採択になる団体や、アイデアはあるのに書類を作る段階まで行かない団体もあるので、それを補完する意味で、民間の団体がサポートしてくれるのは非常

に良いと思う。

【採択結果】

合計点 59.5 点 <60.0 点 ⇒不採択

※審査委員 11 名で審査採点（清藤委員は、申請団体に所属するため審査から外れる）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.0
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	5.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	7.7
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	7.7
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	6.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.4
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	3.2
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	3.6
合計		59.5

● 18 : HIROSAKI コミュニティミーティング～わけものビジョン～

／公益社団法人 弘前青年会議所

【主な意見】

- ・若い人たちの思いをどのように引き出すかが弘前の課題だと思う。若い人を対象とした話し合いの場が少ないので、いいアイデアだと思う。
- ・話し合いで終わるのではなく、場合によっては行政へ向けての提言書を出して、その答えを追跡していく流れになれば、参加者にとってのやる気につながると思う。
- ・街なかの人だけでなく、農村地域のわけものなど、いろいろな地域の人を交えながら話し合いをして欲しい。

【採択結果】

合計点 88.3 点 ≥60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.2
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	9.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.2
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.3
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	8.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.9
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.2
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.3
合 計		88.3

3月17日審査結果（21事業のうち10事業）

採択とする事業	8事業
不採択とする事業	2事業

平成23年度第7回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日時：平成24年3月18日（日）
午前9時30分～午後5時35分
場所：市役所新館2階大会議室

出席者：審査委員 檜楨委員長、阿部副委員長、島委員、成田委員、齋藤（秀）委員、清藤委員、
小山委員、前田委員、東谷委員、長内委員、工藤委員、小林委員、田中委員
※2名欠席
市民生活課 佐々木課長、北岡参事、堀川総括主査、葛西主事、阿保主事

1 公開ヒアリング・審査会 3月17日に引き続き審査。

《審査内容》

●2：開保地堰U字溝設置事業／十面沢町会

【主な意見】

- ・一般的にはハード事業は、行政がやるべきものという言い方もあるが、グリーゾーンとか、従来は全部行政がやるという風になっていたが、だんだん一緒にやろうという社会的動きになってきており、その役割分担を探っている時期であると思う。
- ・昨年も議論になったが、1%で対応すること・地元住民に負担を強いることが本当にいいことかどうかということがある。本事業は3か年で計画されている事業であり、この事業は進めるべきだと思うが、行政の丸投げになることがないように考えていきたい。
- ・ハード事業は行政が持つとしながら、こういった曖昧領域というのが出てくる中で、どういう処理の仕方をするのか、従来型ではない行政との関係づくりをしていかなければいけないと思う。

【採択結果】

合計点 95.4点 \geq 60点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.8
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	10.0
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	9.2
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	10.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.2
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	10.0
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	10.0
合計		95.4

●3:岩木山エコプロジェクト／岩木山観光協会

【主な意見】

- ・岩木山は近くで見るとゴミがたくさん捨てられているという現状を、地域の人に知ってもらうための啓蒙・啓発活動をするとともに、実際にみんなでゴミを拾う活動をするという2つの狙いがある。
- ・観光の目玉でもある岩木山をボランティアの人たちがゴミ拾いをして問題を解決するというのは大変有意義である。
- ・今後も活動を継続していくためにも、補助金だけに頼るのではなく、岩木山が好きな人から賛同金を得るなど、市民を巻き込みながら資金をうまく集めて、継続していく方法も検討してほしい。

【採択結果】

合計点 93.5 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	10.0
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	10.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	10.0
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.8
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.5
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.2
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.2
合計		93.5

●5:地域人材活用型放課後待機児童支援事業／NPO法人 青森県太陽光熱利用研究会

【主な意見】

- ・本事業について、なかよし会等の放課後児童対策としての要素を補完しながら、様々な分野の特別講師による体験学習を実施するなど、子を持つ親にとっては期待感のある事業である。
- ・収支予算では、教室の家賃や光熱水費などの固定的な支出に対し、収入である参加費が現時点で予算を大きく下回ること、また、収支予算以外にも、スタッフの人件費や送迎に係る経費など、団体の持ち出しが大きいことなどから、事業の継続性が懸念される。
- ・人格形成の意味でも非常に重要な役割を果たす大事な時期の子どもを預かって育成することになるので、事業の実施にあたっては、構成員が研修を受けるなどして、児童と関わってほしい。

【採択結果】

合計点 49.2 点 < 60.0 点 ⇒不採択

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	3.8
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	4.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	8.5
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	7.7
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	4.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	4.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	3.5
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	3.5
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	3.1
合計		49.2

●8:体験林業(下草刈)と自然観察会事業／岩木山桜会議

【主な意見】

- ・岩木山で様々な活動を行っている団体があるので、それらの団体とも連携しながら、協力し合って活動してほしい。
- ・林業が衰退する中、山桜の植樹や下草刈りなどの活動を行うのは非常に価値の高い事業であると思う。
- ・今後、林野庁で実施している助成など、他の助成金の活用についても検討が必要である。

【採択結果】

合計点 92.3 点 ≥ 60.0 点 ⇒採択 (申請額どおり)

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.2
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	8.8
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.8
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.6
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.6
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.8
合計		92.3

●10:弘前市民の森で元気になろう／弘前市民の森の会

【主な意見】

- ・弘前市民の森において森林療法や園芸療法を実施して生きがいを持つという事業内容は素晴らしい。開催回数及び参加人数を増やしてもらいたい。
- ・孤独死という問題もあり、高齢者の方の孤立した環境を多方面から支えないと大変な時代になる。
- ・1回の参加人数は少ないが、きめ細かく参加者に寄り添う形で実施する、この事業のやり方も良いと思う。
- ・タクシーやスタッフの自家用車などの活用で、交通の便が悪い状況を解決し、皆で支えながら森を上手に使うって健康作りをするという活動が良い。

【採択結果】

合計点 90.0 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.1
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	10.0
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.8
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	10.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.2
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.2
合計		90.0

●12: 槌子町会環境美花運動「花いっぱい運動」／槌子町会

【主な意見】

- ・町会の若手の人たちが企画し、実践するというのがすごく良い。
- ・苗花のプランターを並べた町会の大通りを通るだけでも子ども達にとっても良い教育になり、花の世話をする大人と一緒にやり始めることができれば、次世代の育成にもつながる。
- ・初年度なので、プランター購入費用など初期投資がかかるが、次年度からは経費が少しずつ減っていくと思う。
- ・大通りの商店街などとも協力してやれば、より良い活動ができると思う。

【採択結果】

合計点 93.1 点 \geq 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.8
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	9.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	8.8
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.8
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.6
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.2
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.6
合 計		93.1

●14: ミドルサイクルネット「どてぶら街なかサイクル隊」／弘前いがめんち食べるべ会

【主な意見】

- ・三輪車は幅のある乗り物で、道幅の狭い土手町を走るのは安全面で心配である。宿泊先の駐輪などについての調整もこれからということなので、実現性の面でも不安が残る。
- ・いがめんちを食べ歩いてもらうための事業か、土手町における観光客の購買促進のための事業か、目的がはっきり見えてこない。
- ・観光の1つのツールとして三輪車を活用し、商店街をまわってたくさん買い物をして、後ろのカゴに荷物を入れてホテルまで帰ってもらおうという事業。
- ・「いがめんち」という弘前の食をアピールしながら、弘前の観光に三輪車を大いに利用してもらうことに利便性を感じる。
- ・事業の実施時期が当初8月下旬までとなっており、観光シーズンを考えて、もう少し継続してやってほしい。
- ・三輪車をレンタルする費用と、購入する価格を比較すると、金額に大きな差がないため、購入した方が、秋の観光シーズンまで使用でき、事業の継続性の面でも良いように感じ

る。

【採択結果】

合計点 72.7 点 \geq 60.0 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

三輪車については、購入も可能とする。

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	6.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	7.7
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	7.3
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	6.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.9
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	7.3
合計		72.7

●15:あらかると箱のアート展3・3・2/どて箱あらかるとの会

【主な意見】

- ・土手町にアートを展示する場を設けることは、発表の場の少ない若手作家などのきっかけづくりとなる事業である。
- ・商店街の衰退を止める仕掛けとしても魅力を感じる。
- ・展示品の販売があった方が、出演者の意欲もあがるのではないかと。今後、軌道に乗れば、販売の方も進めていけばよいのではないかと。

【採択結果】

合計点 69.2 点 \geq 60.0 点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	6.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	6.2
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	5.4
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	7.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.7
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	6.5
合計		69.2

●13:スローライフ観光/NPO 法人 津軽弁協会

【主な意見】

- ・岩木山を中心とした新しい観光事業として、とても重要な活動と考える。
- ・団体が目的としている、重要な観光資源である「津軽弁」の普及等と、電動自転車のつながりが不明瞭である。事業の中にも津軽弁の普及につながる仕組みが欲しい。
- ・出発地点や中継点、モデルコースの設定、バッテリーが切れた時の対応など、事業実施に向けた具体的計画が見受けられず、現段階において、観光事業としては効果的に事業を展開することは難しいものとする。岩木山観光協会と連携するなど、利用者に配慮した体制を整えて実施して欲しい。
- ・電動自転車を利用して岩木山を観光したいというニーズが、どれくらいあるのか心配である。

【採択結果】

合計点 51.2 点 < 60.0 点

審査項目⑤計画・予算の具体性および実施手段・体制の合理性 2.7 点 < 3.0 点 ⇒ 不採択

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.2
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	6.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	6.2
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	5.0
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	2.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	3.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	5.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.2
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	5.0
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	4.6
合計		51.2

●20:コミュニティシネマ事業「harappa映画館」+シネマサロン/NPO 法人 hrappa

【主な意見】

- ・弘前で単館系の映画を見たいというニーズは多くあると思うため、継続して実施して欲しい。また、新たにシネマサロンを活用することで、映画が好きな者同士の語り合える場となり、交流が生まれるのではないかと。
- ・この事業は、文化の面で非常に評価が高いもので、弘前での文化度を計る尺度の1つだと思ふ。
- ・土手町で開催される事業が他にも様々あるので、他の事業とも日程などを調整して実施してほしい。

【採択結果】

合計点 81.5 点 \geq 60.0 点 ⇒採択 (申請額どおり)

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	6.9
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.2
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.1
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	8.8
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.5
合計		81.5

●21:地域の文化資源を生かした生活の再発見プロジェクト「岩木遠足 2012」

／岩木遠足実行委員会

【主な意見】

- ・今後のことを見据え、助成金がなくても実施できるような方向性を検討してほしい。
- ・津軽の魅力は、地元を離れて客観視した時に気づかされる部分がある。地元の人にもっと参加してもらい、県外からの参加者と交流することで、地元の人がある魅力について気づくことができ、より地域に根差した事業になることを期待する。
- ・県外から大勢の人が参加し、津軽の生活について深く考えるというこの事業は、リピーターの参加者や、ここに住みたいと思ってくれる人を作るツールとして、非常に効果の高い事業である。

【採択結果】

合計点 86.9 点 \geq 60.0 点 ⇒採択 (申請額どおり)

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.8
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	8.1
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.9
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.1
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.6
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.2
合計		86.9

3月18日審査結果 (21事業のうち11事業)

採択とする事業 9事業
不採択とする事業 2事業

1次募集事業の審査結果 (21事業) 3月17日・18日審査合計

採択とする事業 17事業
不採択とする事業 4事業